

2007年6月27日

News Release

株式会社投資日報社
株式会社オーバルネクスト

投資日報社とオーバルネクストが業務提携

投資日報社(大阪府中央区備後町3の1、鍋木高明社長)とオーバルネクスト(東京都中央区日本橋兜町13の2、坂元修二社長)は27日、包括的な分野で業務提携を行うことで基本合意しました。

今後両社は、コンテンツ作成、出版、情報サイト運営および営業活動など幅広い分野で協力し、商品先物、金融先物ならびに外国為替証拠金取引(FX取引)など金融業界や個人投資家に対して、これまで以上に豊富で有用な情報提供をしていきます。

現在、国内の商品先物取引業界は、商品取引所法の04年改正、06年改正などの影響を受けて流動性が著しく低下、同時に委託者保護重視とコンプライアンス対応により新たなビジネススタイルの模索が続いています。しかし、経産省が立ち上げた研究会の検討にみられるように、異例のスピードで対策が議論されるなど業界をあげた対応が進展、ようやく活気を取り戻す筋道が見え始めました。

このような環境の中、1961年から「投資日報」を発行する老舗新聞社の投資日報社と、情報ベンダーであるとともに業務系(バックオフィス)システムも手掛けるオーバルネクストが業務提携を通じて、金融関連ビジネスの基盤をより強化していきます。両社は情報コンテンツはもとより人的ネットワークやシステム、営業面も含めた提携を図り、従来にも増して顧客の満足度を重視した事業を展開してまいります。

【投資日報社の概要】

証券市場と、商品市場を対象に、投資家、投機家向けの日刊紙を発行。また1977年より月刊「商品先物市場」を発行。多くの相場に関する本を出版。メールサービスなども人気を得ている。

マーケット情報サイト「商品先物の国内最大サイト 商品先物取引ドットコム」「為替取引ドットコム」「225取引ドットコム」への情報コンテンツも提供。

1993年よりレイモンド・メリマン氏の書籍・レポート等発行元の投資日報出版(株)併設。

【オーバルネクストの概要】

先物専門の情報ベンダーとして81年設立。83年からは旧「ゼネックス」として業容を拡大、90年オンライン情報サービス「FITT」、94年C/S型「PRO-FITT」、03年新システム「e-profit」を開始。05年に現在の社名に変更。06年に「e-profitFX」リリース。主な事業は、先物・為替取引に係るオンライン情報の作成・販売、情報システムの構築ほか、関連の刊行物・書籍などの出版。完全子会社のサクセス・コンサルティング(04年設立)では先物取引業務系システムの開発・販売も展開している。

本件の問い合わせ 電話 03-3665-2441(オーバルネクスト 担当・今野)